

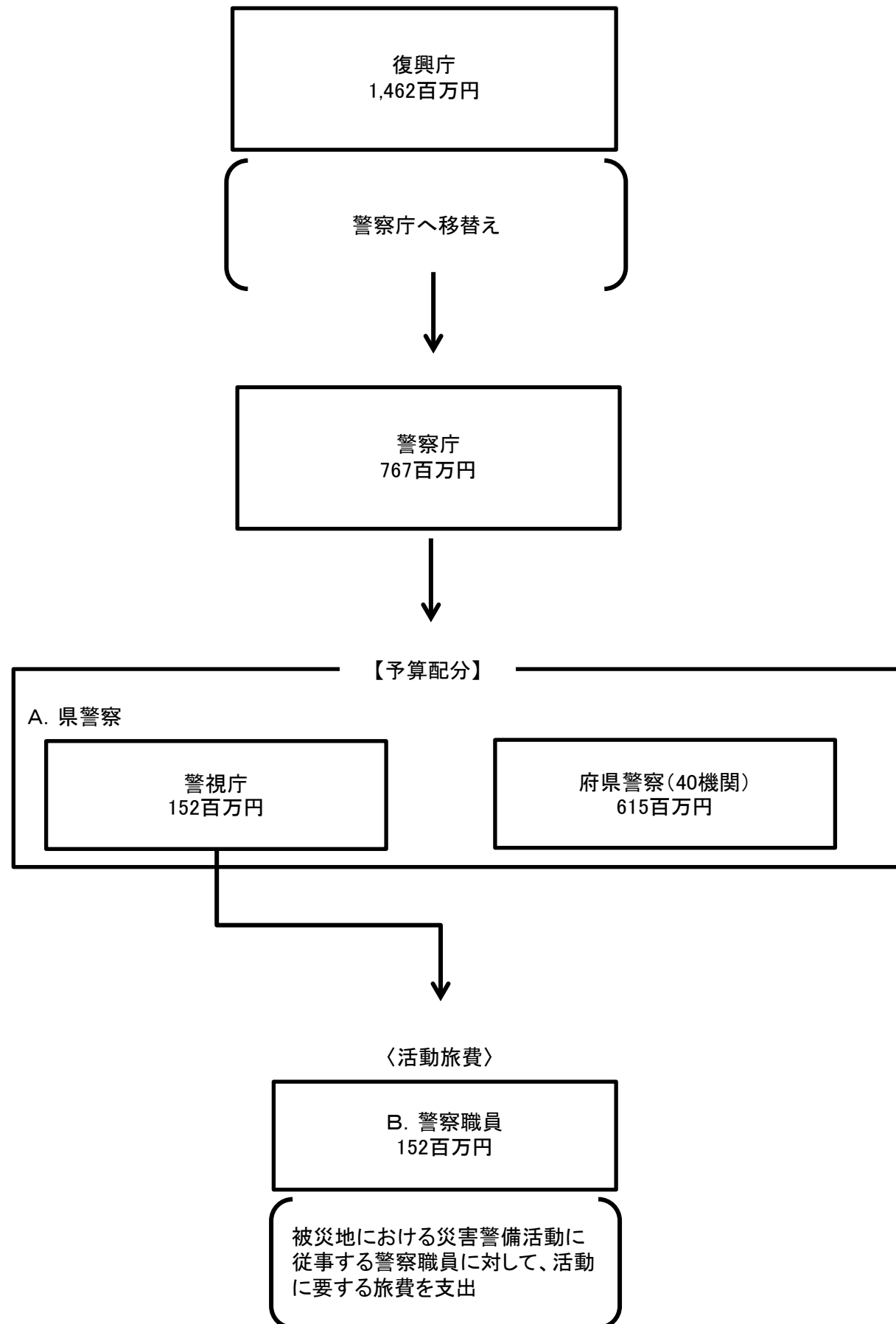
平成26年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	災害警備活動に係る活動旅費等		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～(未定)		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第7号 警察法施行令第2条第7号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災による行方不明者の捜索、遺体の検視・身元確認、被災地の交通規制及びパトロール、避難指示区域の警ら活動等、被災地における災害警備活動を行うための旅費等について国庫が支弁する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大規模な災害における警備活動に要する活動旅費について、国庫が支弁している。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	1,462	804	806	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計		-	-	1,462	804	806	
	執行額		-	-	767	-	-	
執行率(%)		-	-	52.5%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 災害警備活動に要する経費の確保 (成果指標) 年間派遣延べ人数	成果実績	延べ人数	642,153	172,147	87,482	-	
		目標値	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	災害警備活動に要する経費の執行額	活動実績	百万円	7,705	1,493	767	-	
		当初見込み	百万円	8,112	1,086	1,462	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	766,921千円÷年		単位 当たり コスト	千円	-	1,493,173	766,921	804,207
			計算式	/	-	1,493,173/1	766,921/1	804,207/1
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	活動旅費	804	806	-				
	計	804	806					

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	災害警備活動に要する経費であり、東日本大震災からの復旧・復興という観点から国民のニーズは高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	福島第一原子力発電所事故により設定されていた警戒区域が再編されたことに伴い、派遣する警察官数が減少したことにより不用額が発生したものの。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	都道府県警察に予算配分する旅費等について、支出先に関する執行状況を把握することとしている。				
	改善の方向性	適正な旅費等の執行に努める。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の一部改善	平成25年度の執行率が52.5%と低く、事業規模の見直しを行うことが適当である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	平成25年度は、警戒区域の見直しに伴い、派遣部隊を縮小させたことにより、執行額が減少した。平成26年度からは、派遣部隊の規模の縮小を反映させた予算としており、平成27年度も平成26年度と同規模の派遣部隊の規模が見込まれることから、要求額は平成26年度と同水準とした。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	-	平成24年	-	平成25年	新25-011

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補足  
する)(単位:百万円)

A.警視庁			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
予算配賦	活動旅費	152			
計		152	計		0
B.警察職員			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
活動旅費	災害警備活動に要する旅費	152			
計		152	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックごと  
 に最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警視庁	予算配賦	152		
2	愛知県警察	予算配賦	84		
3	神奈川県警察	予算配賦	75		
4	北海道警察	予算配賦	29		
5	静岡県警察	予算配賦	28		
6	埼玉県警察	予算配賦	28		
7	新潟県警察	予算配賦	25		
8	京都府警察	予算配賦	18		
9	茨城県警察	予算配賦	18		
10	栃木県警察	予算配賦	17		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警察職員	災害警備活動に要する経費	152		